



# “学びの森” = 支援員だよ！ =

第7号



平成28年1月6日発行

明けましておめでとうございます。昨年、いっぱい子どもたちへの支援をしていただきました。子どもたちにとっては、学校での生活や授業参加の充実につながりました。

昨年、授業参観させていただいて、わずかの子どもたちではありますが、次のようなあらわれがありました。

- \* 休み時間が終わり、授業への始まりのスタートがきれない。
- \* 授業に参加しているように見えているのですが、視線はぼんやりとしている。
- \* 授業で必要なものの忘れ物があっても、そのままです。
- \* 個人やグループ活動になると、本来のやるべきことから離れてしまう。(私語等)
- \* ノート記入で、ついつい自分流になってしまう子、間違いをそのままにしてしまう子等。
- \* 例えば、ブロックなど補助教材を使っての学習では、ブロックで遊んでしまう子。

注意・集中、  
聞くことな  
どに課題



これらの他に、支援員さん自ら気づかれていることも多々あるかと思います。

さて、1～3月は、子どもにとって、その年のまとめと次の学年の準備とされています。しかし、実際は、まとめの時期というより、次々と新しい内容を理解したり、覚えたり、出来るようにならないと学習の連続です。

支援員さんには今、次のような点を確認しながら子どもたちに接していただけたらありがたいと思います。

- \* 先生の指示・説明など、授業の流れに乗っているでしょうか？ 全員の子どもの確認をしましょう。中でも「一人学び」や「隣の子との共同学習」「グループでの学習」では、支援の必要な子どもが確実に参加できているでしょうか？ 授業以外のことに気持ちが流れていないでしょうか？
- \* これまでの支援の経過から、見守る程度まで身につけてきた子どもからは、徐々に支援の手（量）を少なくしていきましょう。(手の抜けることはどんどん抜く)～でも、できているか確認はとりましょう。
- \* 子どもたちのあらわれについて、担任の先生との情報交換はこれまでと同様に密にしましょう。支援の必要な子どもたちの短期目標、長期目標を確認しましょう。

## <まとめに代えて・・・>

12月、訪問の際、支援員の方とお話をするがありました。

『私たちは、授業が始まってから「この時間はこの学習をするんだ」と理解と同時に、どの子がどんな支援を必要とするかを考える』とのこと  
・瞬時に短期（また長期）目標の設定に照らし合わせた上での支援をなさっておられました。この心掛けは大切にしてほしいと思います。



編集・発行：“学びの森”

〒410-1102

静岡県裾野市深良435番地  
生涯学習センター2階

TEL：055-995-4903

FAX：055-995-4904